

第1回 進路保護者説明会

大阪市立淀川中学校
令和6年6月27日(木)

1

今後の予定について(P2)

学期	月	学校行事	テスト関係	学習目標
一学期	4	入学式	全国学力調査	基礎学力の充実期
	5		中間テスト	(1)中学校1年生・2年生で学習した内容を確習・整理して基礎学力を確かなものにする。
	6	修学旅行 体育大会	実力テスト①	(2)基礎学力の確かめの上によって、日常の授業をまじめに受ける態度を養い、先生の話をよく聞き、さらに基礎学力の充実をはかること。
	7	進路希望調査 第1回進路保護者説明会 学期末三者懇談	期末テスト	(3)定期テスト等の結果を通して、各教科の弱い部分を徹底的に復習する。
二学期	8	終業式		
	9		チャレンジテスト 実力テスト②	実力・応用力の伸張期
	10		実力テスト③ 中間テスト	(1)基礎学力をもとにして、できるだけたくさんの問題に接し、自分の実力を確かめながら、既習内容を点検し、不十分な教科・分野を徹底的に復習すること。
	11	進路希望調査 三者進路懇談	実力テスト④	(2)基本的には、日常の学習をまじめにやること以外に方法はない。学習もよめの段階に入らぬので、先生の話を一言も聞き流さないで聞く態度を養うこと。
三学期	12	進路希望調査 学期末三者懇談 進路希望個人写真撮影 終業式	期末テスト	
	1	始業式	実力テスト⑤ 学年末テスト	教科の弱い分野をもう一度確かめ、最終的に整理すること。
	2	三者進路懇談	私立入試 特別選抜入試	
	3	卒業式	公立一般入試	

※実力テスト等の予定は変更することがあるので最新の行事予定表で確認してください。

実力テスト日程

- ① 6月3日(月)
- ② 9月12日(木)
- ③ 10月4日(金)
- ④ 11月13日(水)
- ⑤ 1月9日(木)
1月10日(金)

※ 3回目、4回目が
非常に重要です。

2

今後の予定について(P2)

7月10日(水)～ 7月16日(火)

期末懇談

目的

- ① 行きたい(興味のある)高校の確認
- ② 子どもの評定・学力を把握する

3

今後の予定について(P2)

11月

2学期進路懇談①

目的

- ① 私立・公立受験校の確認・相談
- ② 子どもの評定・学力を把握する

4

今後の予定について(P2)

12月

2学期進路懇談②

目的

- ① 私立受験校の決定
- ② 特別選抜出願校の確認・決定

➡ 各種検定の認定証をご持参ください。

5

今後の予定について(P2)

1月

進路懇談

目的

- ① 一般選抜出願校の最終確認・決定

➡ 各種検定の認定証をご持参ください。

6

進路の選択にあたって(P3～5)

家庭での話し合いが大切です。

本人の性格、興味、学力、体力などをよく知り、家庭の事情なども考慮して、将来を見通した進路を選べるよう、よく話し合ってください。また、周囲からいろいろな情報が入ってくると思いますが、うのみにせず、担任とよく相談してください。

お子さんの健康上の配慮をお願いします。

睡眠不足であったり、朝食を抜いたりすると学校での授業に集中できません。基本的な生活習慣をしっかり身につけさせてください。

基礎・基本的な学力を身につけることが大切です。

中学校での成績も進路に大きく反映されます。提出物は大丈夫でしょうか。

7

今後の予定について(P3～5)

進路先をよく見極めましょう。

就職するにしても進学するにしても、まず、進路先についてよく調べることが大切です。進学といっても、高等学校、高等専門学校、専修学校、各種学校など様々です。体験入学などに積極的に参加し、学力面だけでなく、どういう雰囲気なのか、どのような進路指導をしているのかなど、よく見ておきましょう。将来の夢の実現のために

「入れる学校」ではなく「行きたい学校」を 考えましょう。

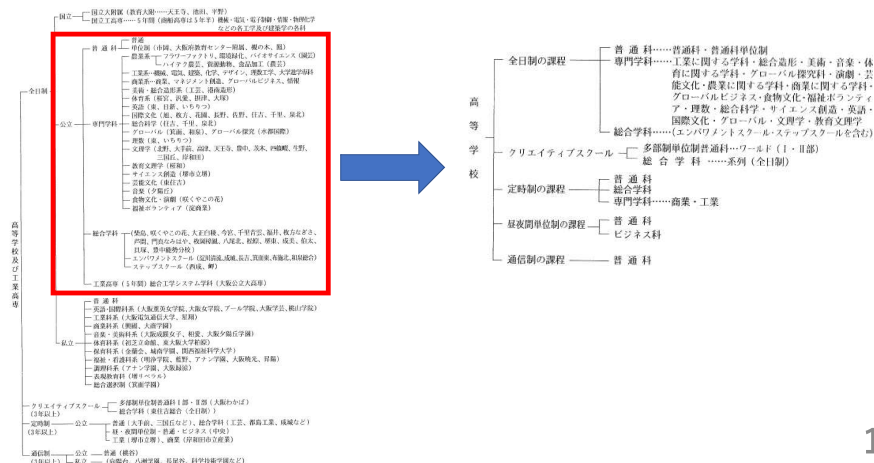
学級担任とよく話し合いましょう。

ご家庭での話し合いをもとに、担任との懇談になります。学校では、学校長、教頭、3年担当職員などを中心にした進路委員会で、多くの資料をもとに生徒一人一人について分析し、保護者の皆さんとの懇談に備えています。したがって、懇談でのお話は担任一個人の意見ではありません。十分参考にいただければと思います。

また、進路選択を担当に一任するようなことはないようにしてください。進路はあくまでも本人と保護者が決めるものです。

8

高等学校について(P6~7)



高等学校進学について

☆私立校(109校)

- ・男子校、女子校、共学校がある。
- ・専願、併願で合格基準が違う。
- ・受験日が異なれば、日本全国どの私立校でも受験できる。

☆公立校(154校)

- ・大阪府内はすべての学校が共学。
- ・合格したら必ず入学する。
- ・特別選抜（2月）と一般選抜（3月）がある。

進学フェア

都島区・北区進学フェア

7月6日(土)10:30~16:30

都島区民センター

※事前予約なし



PRコース タイムスケジュール (曜日・会場別)				
開始時刻	終了時刻	区分	学校名	
10:45	10:55	私立	聖光学院高等学校	
11:00	11:10	私立	高田学院高等学校	
11:15	11:25	公立	佐賀県立高等学校	
11:30	11:40	公立	東海学院高校	
11:45	11:55	私立	私立聖光高等学校	
12:00	12:10	私立	高田学院高等学校	
12:15	12:25	私立	鶴巻高等学校	
12:30	12:40	公立	溝口高等学校	
12:45	12:55	公立	四国銀行高等学校	
13:00	13:10	私立	私立聖光高等学校	
13:15	13:25	公立	大分県立高等学校	
13:30	13:40	公立	福岡県立高等学校	
13:45	13:55	公立	水戸県立高等学校	
14:00	14:10	公立	大田県立高等学校	
14:15	14:25	私立	大田建設専門学校	
14:30	14:40	公立	豊田県立高等学校	
14:45	14:55	公立	福岡県立高等学校	
15:00	15:10	公立	大田県立高等学校	
15:15	15:25	公立	飯塚高等学校	
15:30	15:40	公立	飯塚県立高等学校	
15:45	15:55	公立	芦屋県立高等学校	
16:00	16:10	公立	大田県立高等学校	
大田県立高等学校 大田県立高等学校				



各種学校説明会

私学入試説明会

7月14日(日)12:00～16:30
エディオンアリーナ大阪

※事前予約制



申し込みフォーム

13

各種学校説明会

大阪府認可通信制説明合同説明会

7月26日(日)10:00～16:00
天満橋OMMビル2F

※事前予約なし



14

進学フェア

大阪府公立高校進学フェア

7/30(火)、31日(水)
エディオンアリーナ大阪

※事前予約制



7/30参加校



7/31参加校

15

進学フェア

大阪私立学校展

8/10(土)、8/11(日)
天満橋OMMビル

※事前エントリー制



16

進学フェア

高等専修学校合同相談会

8/24(土)12:00～16:00
大阪私学会館 4 階講堂



※事前予約なし

17

令和7年入試 説明会・オープンスクール情報

事前申し込みが必要な学校が多いです。
詳しくはQRコードをご覧ください。

私立



18

令和7年入試 説明会・オープンスクール情報

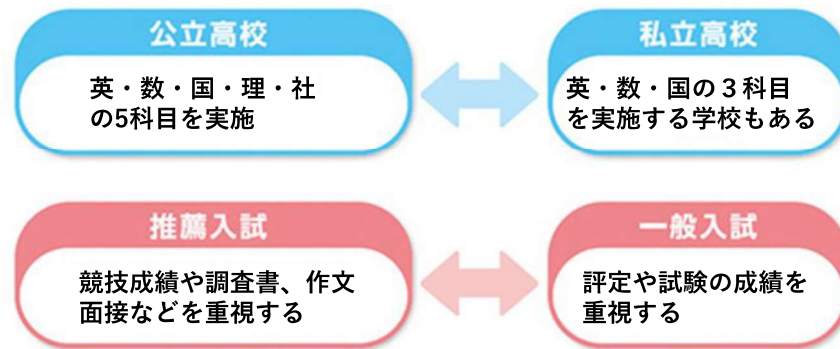
オープンスクールへの参加

私立⇒個人で申し込む
オープンスクールなどに行ったら
必ず担任に報告する

公立⇒学校単位で申し込む場合有
教室に掲示してある案内を見る

19

高等学校進学について(P6～18)



20

高等学校について(P8~12)

公立高校の学科の特色

詳細はP 8 ~12をご覧ください。

アドミッションポリシー(P12)

校 宮	本校は、学習とスポーツ・文化活動の両立を教育目標に掲げ、自主・自律の精神を重んじるとともに、礼儀正しく、豊かな教養と幅広い人間性（他者を慈しむ心）を育む教育を実践しています。本校の特色を理解し、何事にも前向きに取り組む、他の生徒と友好な関係を築くことができる生徒を歓迎します。（本校は、「知的障がい生徒自立支援コース」を設置しています。）					
	1) 学校行事、地域との交流、部活動などに仲間とともに積極的に参加する生徒	一				
	2) 目的意識を高く持ち、自ら進んで勉学に励み、学力の向上をめざす生徒	B	B	B	B	III
	3) 中学校での活動（学級活動・生徒会活動・部活動等）に積極的に取り組み、具体的な成果・実績をあげた生徒					
	4) 「知的障がい生徒自立支援コース」について理解を深め、「ともに学び、ともに育つ」教育を実践できる生徒					

- 5) 人間スポーツ科学科の教育内容を理解し、将来、スポーツの普及と発展に貢献し、ようとする意欲があり、中学校等におけるスポーツ活動の成績が優秀な生徒
(人間スポーツ科学科志望者)

(参考)
昨年度分
7月に更新



アドミッションポリシー(P12)

(様式111表) A 4用

<特設・特設分校・特設校・一校・二校・特設校等>

令和5年度入学者募集

学校長(または校長)の署名と印をここに捺印してください。

学 校 長 印

自 己 申 告 書

高等学校長 様

下記のとおり、申告します。

志願者名

記

【テーマ】

あなたは、中学校等の生活(あるいはこれまでの人生)でどんな経験をし、何を学びましたか。また、それを高等学校でどのように活かしたいと思いますか。できるだけ具体的に記述してください。

公立高校の入試の仕組みについて(P13~14)

○ 一般入学者選抜(全日制の課程(調査書を要しない選抜を除く。))

<Step 1>

学 力 検 査

教科	国語	社会	数学	理科	英語	学力検査の成績(①)
配点	90点	90点	90点	90点	90点	450点

調 査 書

9教科の評定は各50点(3学年の評定×6席+2学年の評定×2席+1学年の評定×2席)とする。

(9教科：国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭、英語)

調査書の評定(②)

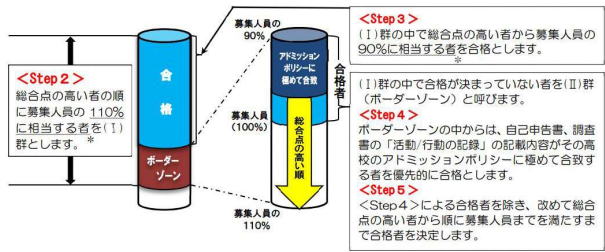
450点

総 合 点

高等学校を設置する教育委員会が定める倍率の中からあらかじめ各高等学校長が選択し、高等学校を設置する教育委員会が決定したタイプにより、「学力検査の成績(①)」と「調査書の評定(②)」にそれぞれの倍率をかけて合計し、総合点を算出。

タイプ	学力検査の成績(①)にける倍率(点数)	調査書の評定(②)にける倍率(点数)	総合点	【参考】学力検査の成績：調査書の評定
I	1.4倍(630点)	0.6倍(270点)	900点	7:3
II	1.2倍(540点)	0.8倍(360点)		6:4
III	1.0倍(450点)	1.0倍(450点)		5:5
IV	0.8倍(360点)	1.2倍(540点)		4:6
V	0.6倍(270点)	1.4倍(630点)		3:7

公立高校の入試の仕組みについて(P13~14)

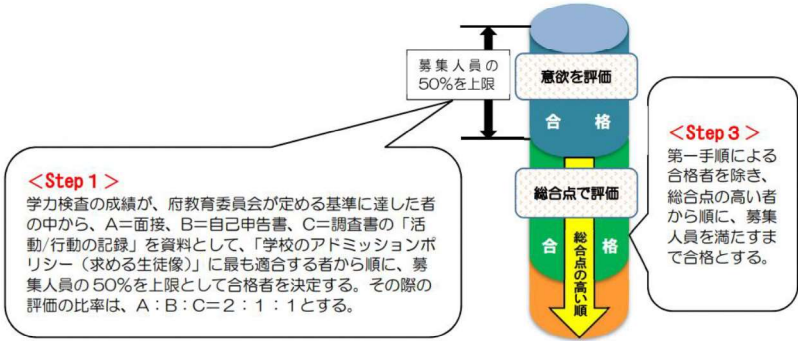


* 総合点の同点者がいるために、90%、110%に当たる者を確定できない場合は、その同点者も含めた人数までを募集人員の90%、110%に相当する者とする。

総合点を高得点から順に並べ、**募集人員上位90%をまず合格とします。**
あとの90~110%をボーダーとしその中から残り10%の合格者を決定します。

ボーダーゾーンの中からは、自己申告書、調査書の「活動/行動の記録」の記載内容がその高校の**アドミッションポリシー (P12) に極めて合致する者を優先的に合格とします。**

○ 特別入学者選抜
◀面接を実施する場合(多様な教育実践校を除く)▶



公立高校の入試の仕組みについて(P13~14)

<Step 2>
学力検査

教科	国語	社会	数学	理科	英語	学力検査の成績(①)
配点	45点	45点	45点	45点	45点	225点

調査書

9教科の評定は各25点(3学年の評定×3倍+2学年の評定×1倍+1学年の評定×1倍)とする。
(9教科:国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭、英語)

調査書の評定(②)
225点

総合点

高等学校を設置する教育委員会が定める倍率の中からあらかじめ各高等学校長が選択し、高等学校を設置する教育委員会が決定したタイプにより、「学力検査の成績(①)」と「調査書の評定(②)」にそれぞれ倍率をかけて合計し、総合点を算出。

タイプ	学力検査の成績(①)にける倍率(点数)	調査書の評定(②)にける倍率(点数)	総合点	【参考】学力検査の成績:調査書の評定
I	1.4倍(315点)	0.6倍(135点)	450点	7:3
II	1.2倍(270点)	0.8倍(180点)		6:4
III	1.0倍(225点)	1.0倍(225点)		5:5
IV	0.8倍(180点)	1.2倍(270点)		4:6
V	0.6倍(135点)	1.4倍(315点)		3:7

(例)A学科とB学科を設置している学校の場合

【STEP 1】
第1志望の学科に関係なく、総合点の高い者から順に並べる。

【STEP 2】
第1志望の学科ごとに、総合点順に振り分ける。

【STEP 3】
定員の110%に相当する人数まで先に満たした学科(A学科)の合格者を決定する。

【STEP 4】
B学科を第1志望とした者と、A学科の不合格者のうちB学科を第2志望としたものを合わせて総合点の高い者から順に並べ、合格者を決定する。

公立高校の入試の仕組みについて(P15)

《入学者選抜における英語資格（外部検定）の活用について》

スコア等に対応する英語の学力検査の読み替え率を次のとおりとし、この読み替え率により換算した点数（最低保障する点数）と当日受験した英語の学力検査の点数の高い方の点数を当該受験生の英語の学力検査の成績とする。

公立高校の入試の仕組みについて(P15)

《入学者選抜における英語資格（外部検定）の活用について》

				最低保障する点数	
TOEFL iBT	IELTS	英検	読み替え率	特別選抜	一般選抜
60点～120点	6.0～9.0	準1級	100%	45点	90点
50点～59点	5.5	(対応無し)	90%	40.5点	81点
40点～49点	5	2級	80%	36点	72点

例、一般選抜の場合
TOEFL iBTが55点の生徒が、当日の英語の学力検査の得点が70点だった。
その場合、英語の学力検査の成績を最低保障する点数である「81点」として総合点を算出する。この制度を活用する受験者は、年々増加しており、令和5年度選抜では、42215名の志願者のうち3999名の受験者がこの資格を活用している。※英語資格を活用した受験者のうち、学力検査において最低保障する点数以上の得点に到達した人数（以下「到達者数」という。）及び割合は1205名 **約30%**でした。

昨年度の私学検定優遇・特待生制度について

私学検定制度



特待生制度



令和7年度大阪府公立高等学校入学者選抜関係一覧 入学者選抜における学力検査問題等について

令和6年度特別入学者選抜等
学力検査問題及び採点資料等

過去問などが掲載されています
ので、ご活用ください。



府内統一ルールについて(P15~16)

2 中学生チャレンジテスト

学年	学校	人数	平均点(点)					平均合格率(%)				
			国語	社会	数学	理科	英語	国語	社会	数学	理科	英語
3 年	学校	60	54.1	46.5	43.5	41.1	43.2	12.2	4.3	13.6	9.5	7.7
	大府市	—	62.3	54.2	51.9	47.8	54.3	9.9	2.9	10.6	8.0	6.2
2 年	学校	—	62.1	54.7	52.2	47.6	54.2	10.3	3.1	11.2	9.0	6.5
	大府市	—	63.1	46.1	46.0	31.2	45.2	11.9	5.6	18.1	19.0	16.3
1 年	学校	—	66.7	54.6	52.2	39.8	57.2	8.2	3.2	11.2	11.1	8.6
	大府市	—	66.8	54.2	52.2	40.3	57.1	8.3	3.5	12.0	11.8	8.9
1 年	学校	72	59.8	43.5	47.7	46.0	59.2	13.3	10.6	14.3	3.2	0.0
	大府市	—	60.6	56.0	55.4	62.2	64.1	8.7	5.2	9.1	1.9	4.3
1 年	学校	—	60.8	—	54.7	—	64.1	9.6	—	10.3	—	4.9
	大府市	—	60.8	—	54.7	—	64.1	9.6	—	10.3	—	4.9

※ 1年生の社会・理科については、「大府市版チャレンジテスト」として実施
 ※ 1年生の理科は科学的領域を重視
 ※ 2年生の社会は人間関係を重視、2年生の理科は環境問題を重視
 ※ 3年生の理科は環境問題を重視

【チャレンジテスト実施5教科の評定平均について】

府全体の「評定平均」≒3.52

府全体の「評定平均」
 ≒3.30×2.3+4.30×2.3+3.30×3.2+2.30×3.3+1.30×3.3

(参考) 1学年と2学年の評定平均

5	25%
4	25%
3	33%
2	13%
1	5%

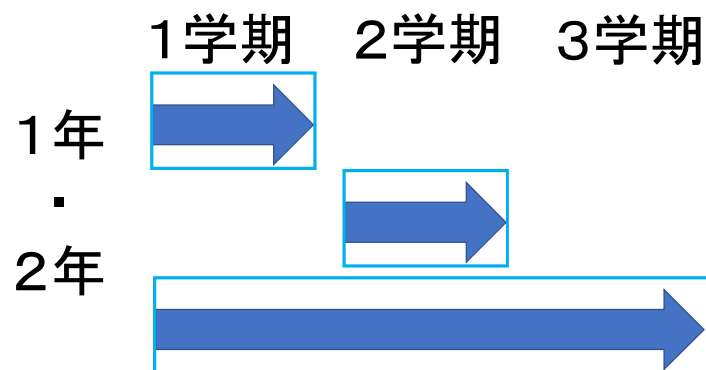


昨年度分チャレンジテスト結果
 淀川中学校HPより抜粋

自校のチャレンジテストの平均点と
 府全体の平均を比べて、評定の範囲を決定

33

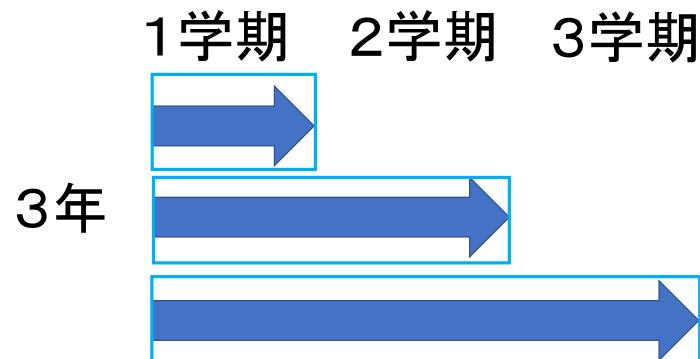
府内統一ルールについて(P15~16)



学期ごとに評定が付き、学年末で確定する。

34

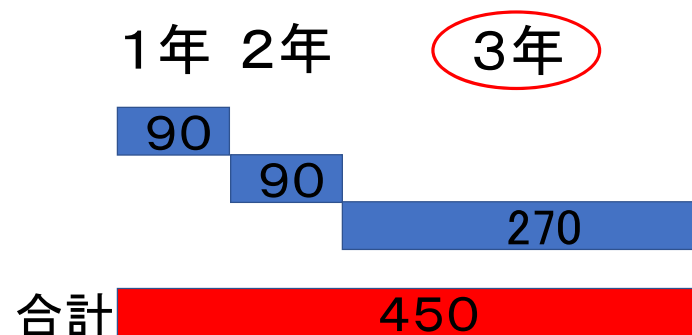
府内統一ルールについて(P15~16)



学期ごとに現段階の評定が更新される。

35

府内統一ルールについて(P15~16)



1年:2年:3年=90:90:270

36

高等学校進学について

大阪公立高校パンフレット (3年生は配布済)

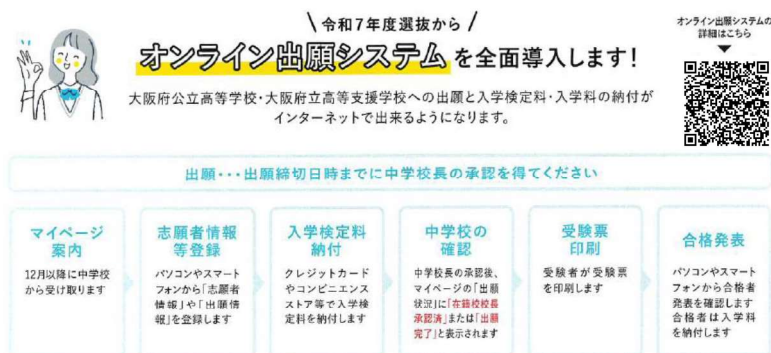


さくナビ



37

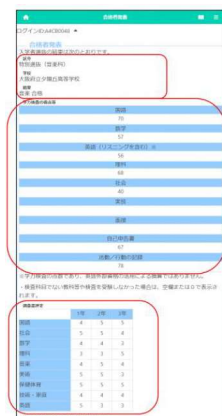
オンライン出願について



※システムの操作方法や詳細はQRコードから確認してください。
出願には中学校長の承認が必要です。出願締切日時を過ぎると出願はできません。出願完了後に、志願者情報等の変更はできません。

38

オンライン出願について



- ➡ 受験校の可否結果
- ➡ 当日の学力検査の点数
- ➡ 調査書評定



39

変更点について

(2) 機能統合により再編整備する学校

対象校 (所在地)	機能統合先となる学校 (所在地)	対象校 募集停止時期	機能統合 開始時期
西野田工科高校 (大阪府福島区)	今宮工科高校 (大阪府西成区)	令和7年度 入学者募集時	令和7年度から

(3) 統合整備により新たな工業系高校として開校する学校

対象校 (所在地)	対象校 募集停止時期	新校募集 開始時期	使用校地
布施工科高校 (東大阪市)	令和7年度 入学者募集時	令和7年度 入学者募集時	現城東工科高校 校地
城東工科高校 (東大阪市)			

支援諸学校について(P24)

HPのリンクが
掲載されているのでご活用ください。



41

私立高校について(P25～34)

Dream
大阪私立高校パンフレット
(3年生は配布済み)

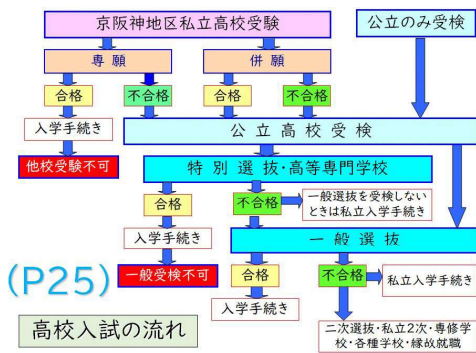


42

私立高校について(P25～34)

進路の手引きP25 抜粋

- (4) 専願と併願について
- 専願……私立高校1校のみ出願することです。合格したら必ず入学しなければいけません。
併願……私立高校と公立高校を出願することです。なお、私立高校では専願で出願する場合と、併願で出願する場合とは、専願を優先する高校が多いです。
公立のみ……公立高校のみを出願することです。
- ① 私立専願
- 合格……必ず私立校へ(入学手続き)
 - 不合格……公立(特別・一般)校、私立(1.5次)校も受験できます。
- ② 併願(私立・公立) → 私立 → 公立
- 両方合格の場合は公立合格校へ
 - 私立校への入学手続きは、学校により手続き期日が違うので確認しておきましょう。
- ③ 公立のみ
- 公立特別入学者選抜
 - 合格……公立合格校へ(入学手続き)
 - 不合格……公立(一般)校を受験できます。
 - 公立一般入学者選抜
 - 合格……公立合格校へ(入学手続き)
 - 不合格……私立1.5次(実施校少ない)
 - ……私立2次(実施校少ない)
 - ……公立2次(補充募集がある高校のみ)



43

高等学校進学について

【 専 願 】

受験校を第1志望とし、**合格すれば、必ず入学**することを約束して受験する。合格判定で、**併願者よりも有利**になる。

【 併 願 】

他の高校を第1志望とし、合格しても入学するとは限らないと表明して受験する。
合格判定で専願者よりも厳しくなる。

☆大阪府・兵庫県・京都府のほとんどの私立高校は、同じ日(2/10、11)に入試が行われます。

44

高等学校進学について

私立高校における専願・併願の違い（例）

専願	・出願校以外受験できない ・選考時に優遇されることが多い ・入学手続き日は、合格発表日以降に各高校が設定
併願	・他校も受験できる ・選考時の優遇措置はないことが多い ・入学金などの延納制度がある高校もある

45

奨学金について(P35～36)

高等学校等授業料支援補助金(府補助金)

・受給資格

「保護者(学資負担者)が大阪府民である」

「10月1日現在、大阪府の全日制私立
高等学校に在籍している」

※ 9月30日までに中退した場合は
支給されません。



46

奨学金について(P35～36)

授業料無償化制度

全日制 授業料が60万円の学校の場合		授業料負担年額		
年収のめやす (市町村民税の課税標準額×6%—市町村民税の調整控除の額)		子ども1人の 世帯	子ども2人の 世帯	子ども3人以上の 世帯
～590万円未満 ^{※1} (154,500円未満)		無償	無償	無償
590万円～800万円未満 ^{※1} (154,500円～251,100円未満)		20万円 ^{※3}	10万円 ^{※3}	無償
800万円～910万円未満 ^{※1} (251,100円～304,200円未満)		481,200円 ^{※3}	30万円 ^{※3}	10万円 ^{※3}

補助の要件(全日制・通信制)

- ① 生徒と保護者(親権者全員)が大阪府内に在住していること。
- ② 大阪府教育長が指定した「私立高校生等就学支援推進校」に10月1日に在学していること。
- ③ 保護者全員の「市町村民税の課税標準額×6%—市町村民税の調整控除の額」の合算が、基準の範囲内であること。
(国の就学支援金を受給していることが必要です)

**年収制限や補助の要件があるので、
注意が必要です。**

47

奨学金について(P35～36)

授業料以外の補助金

私立高等学校等奨学のための給付金(授業料以外の教育費補助)

区分	対象生徒の区分	給付金額	
		全日制	通信制
1	生活保護(生業扶助)受給世帯に扶養されている生徒	52,600円	
2	令和5年度の 道府県民税所得割と 市町村民税所得割が 非課税	137,000円	52,100円
3	非課税世帯の生徒で、 a 同じ世帯に扶養されている分が高校等に在学する場合 b 同じ世帯に扶養されている兄弟姉妹が15歳以上23歳未満で 中学校や高校等(全日制・定時制)に在学している場合	152,000円	

※上記内容は、令和5年3月現在の内容です。今後変更となる場合があります。

■要件 保護者からの申請手続きが必要です。

令和5年7月1日時点において、次の1～3の要件を、すべて満たしている方が支給の対象となります。

- ① 保護者等(親権者全員)の令和5年度の道府県民税所得割と市町村民税所得割が非課税、もしくは生活保護(生業扶助)受給世帯であること。
- ② 保護者等(親権者全員)が、大阪府内に在住していること。
- ③ 生徒が高等学校等就学支援金の支給を受ける資格を有する者、または学び直し支援金の補助対象となる者であること。
- ④ 生徒が、高等学校等就学支援金の支給対象校に在学し、休学していないこと。ただし、令和6年3月1日までに復学している場合は対象。
- ⑤ 生徒が、平成26年4月1日以前に、高等学校等の第1学年に入学していること。

平成27年4月1日以前に第2学年に、平成28年4月1日以前に第2・3学年に転入している生徒を含みます。

48

私学無償化について

●無償化制度対象者	
授業料支援補助金の在住案件は、毎月1日時点で原則として生徒と保護者全員の大阪府内在住が条件。	
・1年を通して授業料無償化対象となるには、4月1日に原則生徒と保護者全員が府内在住のこと。	
・年度途中で府内に転入または転学した場合は、その翌月から対象となる。	
・年度途中で転退学（転出）した場合、その翌月から対象外となる（1日なら当月から）	
・生徒が進学のため他府県にある学校の寮や下宿で生活している場合は対象となる。	
・原則として保護者全員が府内在住が条件だが、仕事・介護・入院等やむを得ない事情により一時的に府外に住所を移す場合は対象となる。	
・保護者全員（両親）が海外在住の場合は就学支援金基礎額（月額9900円）のみ支給となる。	
保護者1人が国内在住の場合は、その保護者の住民税を確認し、年収めやす910万円未満であれば、就学支援金基礎額（月額9900円）が支給、やむを得ない事情の場合は対象となる。	
・私立の中学校や小学校は対象ではない。	
●対象校	
○公立高校、私立高校（全日制課程、定時制課程、通信制課程）、高等専門学校（本科1～3年生）	
○専修学校（高等課程）、各種学校	
「私立高校生等就学支援推進校」については、大阪府教育委員会のHP>教育・学校・青少年>私立学校（幼・小・中・高・専各）>私立高校生等に対する授業料の支援について>令和6年度 私立高校生等就学支援推進校の指定状況について に掲載されている	
・近畿1府4県における新制度の適用状況を見ながら、実施手法を検討していく。	
令和6年度は、近畿1府4県以外の学校は授業料無償化の対象となっていない。	
★令和7年度入学生は高校2年生より制度内容が変わるので大阪府から公表される制度案を確認してください。	
問い合わせは、府民問い合わせセンター ピピッとライン 06-6910-8001（土日除く9:00～18:00）	

第2回進路説明会について

ご清聴ありがとうございました。
第2回進路説明会は
11月26日(火)を予定しています。
よろしくお願いいたします。